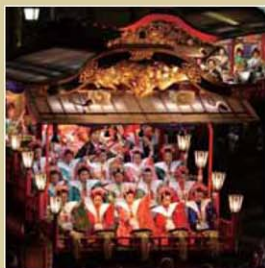


全国 の まつり



岩手県奥州市の「日高火防祭」は、火防（ひぶせ）とは文字通り「防火」の意。木造建築が中心だった日本では、昔から防火を祈願する祭りが重要な意味を持っていたのです。300年もの歴史を誇る日高火防は、いわば「町方火消しの祭典」。纏（てん）振りや町印（ちようじる）といった今では珍しい火消し姿を見ることが出来ます。そして、祭りの興奮が最高潮に達するのは「相打ち」。ほんばりの灯りの中、三味線や小太鼓を演奏する娘たちを乗せた豪華絢爛「はやし屋台」と「打ちばやし」が、格調高い音色を響かせ練り歩きます。

岩手県奥州市
日高火防祭
ひぶせまつり
【岩手県無形民俗文化財】

■出演 日本のお祭り「日高火防まつり」
札幌・長沼出演実行委員会

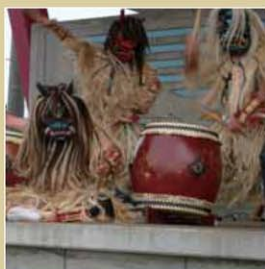


盛岡市
盛岡さんさ踊り
【盛岡市無形民俗文化財】

その昔、盛岡城下に悪事をはたらく鬼が現れ、困り果てた里の人々が三ツ石神社に祈願すると、神様によって鬼は退治され、二度と悪さをしないよう岩に手形を残させたのが「岩手」の由来とか。鬼の退散を喜んだ里の人たちは「サンサ、サンサ」の踊り継がれた庶民の踊りは、「盛岡さんさ踊り」として市内中心部でパレードする規模に発展しました。祭りの見どころは、太鼓を身につけたまま踊る勇壮な太鼓群。全国的にも珍しい踊りの集団は盛岡の夏を彩る一大絵巻です。

岩手県盛岡市
盛岡さんさ踊り
【盛岡市無形民俗文化財】

■出演 盛岡さんさ踊り実行委員会

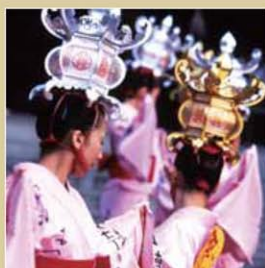


秋田県男鹿市
なまはげ太鼓
【国指定重要無形民俗文化財（なまはげ）】

「云うこと聞かねえ童子はいねかあ」。秋田を代表する伝統行事「なまはげ」は、男鹿半島地区に古くから伝わる民俗行事。一年の節目となる年越しの晩に、包丁を持ち、ミソをまとった恐ろしい鬼姿が家々に奇声をあげながらやってくるのです。それは「なまはげ」が人々の怠け心を戒め、五穀豊稔と家内安全を祈願する、心優しき山神の化身だからこそ。「なまはげ太鼓真山おろし」は、里へ下りて来る「なまはげ」が人々を叱咤激励し、怠け心をはらう様子を勇壮な和太鼓の響きで表現しました。

秋田県男鹿市
なまはげ太鼓
【国指定重要無形民俗文化財（なまはげ）】

■出演 男鹿和太鼓愛好会



熊本県山鹿市
山鹿灯籠まつり
【山鹿市無形民俗文化財】

熊本県北部の田園観光都市山鹿。この地は平安時代からの歴史を誇る温泉郷であり、また和紙のりだけで作る伝統工芸「山鹿灯籠」が有名です。室町時代から継承され、灯籠師と呼ばれる職人のみで作ることのできる山鹿灯籠は、金灯籠や官造りなど手工を凝らした、まさに和紙の芸術品。その灯籠にまつわる夏の風物詩が「山鹿灯籠まつり」です。熊本で行われる祭りのハイライトは、1000人もりの女性が灯籠を頭に掲げて踊る「千人灯籠踊り」。山鹿灯籠の美と優雅な踊りをご堪能ください。

熊本県山鹿市
山鹿灯籠まつり
【山鹿市無形民俗文化財】

■出演 山鹿灯籠まつり実行委員会

全国のまつり



「秋田竿燈まつり」は、病魔や邪気をはらうねぶり流しと、豊作や技芸上達を願う七夕がつになった祭りと考えられています。竿燈は、長さ12mもの竹竿に40個以上のちようちんを吊した重さ50kgにもなる大若（おおわか）をはじめ、中若（ちゅうわか）、小若（こわか）、幼若（ようわか）と大小さまざまなものがあります。ろうそくが灯された竿燈は、金色に輝く大きな稲穂に見立てられ、五穀豊穡を祈る祭りとなりました。今回は会場に10本の竿燈が登場、幻想的な光景をご覧くださいませ。

■出演 / 秋田市竿燈会



八尾の人々が守り育んできた民謡行事「越中おわら」。その歴史は古く、江戸中期の元禄といわれています。かつて遊芸の達人たちが滑稽な変装をして謡を唄いながら町を練り歩き、歌詞の中に「おわらひ（お笑い）」という語をさし挟んで唄ったという説や、豊作を祈り藁の束が大きくなるよう「おわら（大藁）」が転じたという説がありま。現在は歌詞を改め、踊りが加えられ、叙情豊かな唄と踊りの世界に観る者を誘います。踊りは3通りあり、また演奏に胡弓を使うのも特徴です。

■出演 / 富山県民謡おわら保存会



「青森の夏は耳からやってくる」。6月ともなると街中にねぶた囃子があふれ、市民は8月のねぶた祭に想いを馳せながら夏の訪れを待つのです。青森ねぶたは、日本を代表する火祭りのひとつ。夕暮れの八甲田山を背景に、赤々と輝く重さ4tもの人形灯籠が町を練り歩きます。勇壮華美な組ねぶたは、台の上に歴史上の人物等が象られ、その表情は実に豊かで迫力あるものばかり。跳入（はねこ）と呼ばれる踊り手たちの群舞も相まって祭りは最高潮に。夜空が燃え、大地が揺れる。青森ねぶたのパワーを体感してください。

■出演 / 青森ねぶた祭実行委員会

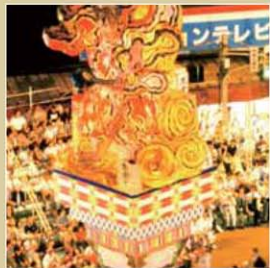


華やかに彩られた蔵王大権現の山車を先頭に、「ヤツシヨ、マカシヨ」の勇ましい掛け声と花笠太鼓が高らかに響きわたる。8月上旬、山形市内のメインストリートに埋めつくすのは、あでやかな衣装に身を包み、「花笠音頭」に揺れる踊り手の大群。花笠には県の花「紅花」があしらわれ、華麗にしてダイナミックな踊りの列は、花笠のうねりとなつて沿道に咲きこぼれます。以前は、糸乱れぬ踊りの集団美が醍醐味でしたが、今は女踊り、男踊り、さらに創作踊りなど多様な踊りが観客を魅了します。

■出演 / 山形県花笠協議会

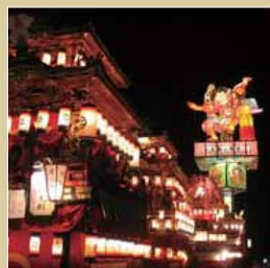


全国 の まつり



青森県を代表する夏の祭典「ねぶた」の一角をなす五所川原の立佞武多。その特徴は、なんと「いこも」立ち姿の人形灯籠です。これは、かつて五所川原の豪商や豪農たちが力を誇示すべく灯籠の大きさを競った証。最大で高さ約22m、7階建てのビルに相当し、その昔は隣町の金木町からも見えたといわれます。三国志や歌舞伎など歴史上の武者を象った威容なねぶた姿は必見。市内に張り巡らされる電線により小型化を余儀なくされましたが、祭りにかける市民の情熱に変わりはありません。

■出演 / 五所川原市



奥能登、珠洲市の中心飯田町に伝わる「燈籠山祭り」。その起源は江戸時代、寛永初期にまでさかのぼります。飯田町の春日神社の祭礼に、8つに区分けされた町内から1台ずつ曳きだされた山車（やま）が燈籠山の原型。やがて各町で大きさを競うようになりました。最大のもものは高さ約16mもあり、下から地山、屋台、柁障子、小台、大台、人形と重ねられた大仕掛けなものでした。大正時代、電柱架設工事の始まりとともに巨大燈籠山はいったん姿を消しますが、現在、有志により往年の燈籠山が1台復元されています。

■出演 / 飯田町祭礼委員会



「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らなソソ」。誰もが気軽に参加できる祭りとして広く愛されている「阿波踊り」。江戸時代、徳島藩主蜂須賀家政公が築城記念に催した宴で踊ったことが始まりとされていますが、現在の踊りはそれ以前の風流踊りや歌舞伎などの芸能が融合したものと考えられています。連（れん）と呼ばれる隊列が、棧敷（さじき）という観客席を踊り抜けるスタイル。テンポ良い2拍子の伴奏につれて、若男女が群舞・乱舞する様は、リオのカニバルにも匹敵する情熱ぶりです。

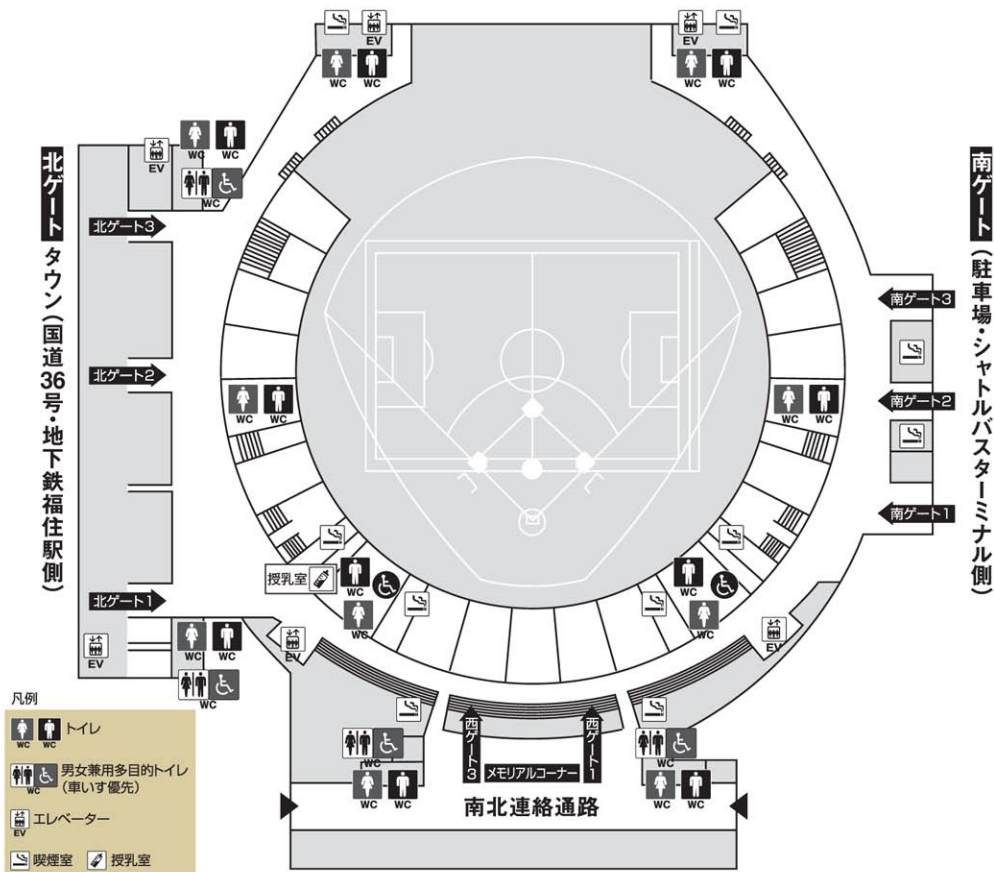
■出演 / 八千代連



エイサーは、三線の心地よい音色に包まれる沖縄の盆踊り。地域によつて踊り方も個性的で、「全島エイサーまつり」はその違いを一度に愉しめる、いわばエイサーの全島大会。毎年田舎明けの最初の週末に開催され、今では沖縄の夏の風物詩として大規模な祭りとなりました。開催中は、本島各地から選抜された青年会や団体、姉妹都市からのゲストが集結し、街中がエイサーに酔いしれます。三線の響きと歌、迫力のパチさばきの太鼓に勇壮な踊り。島民の魂を揺さぶるエイサーをお楽しみください。

■出演 / 沖縄全島エイサーまつり実行委員会





札幌商工会議所創立100周年記念
「日本のまつり」同時開催

日本のまつり 観光と物産展

まつりの故郷から、ご当地自慢や名産品がどっさり

日時 9月9日(土) 11:00~16:30

会場 札幌ドーム コンコース

全国

- ◎青森県 五所川原市〈五所川原立佞武多〉
- ◎岩手県奥州市〈日高火防祭〉
- ◎山形県鶴岡市〈山形花笠まつり〉
- ◎徳島県〈阿波踊り〉
- ◎石川県珠洲市〈能登・珠洲飯田町・燈籠山祭り〉他多数

北海道

- ◎小樽市〈小樽潮まつり〉
- ◎函館市〈はこだてイカ踊り〉
- ◎深川市〈深川しゃんしゃん傘踊り〉
- ◎富良野市〈北海へそ踊り〉
- ◎札幌市〈札幌商工会議所〉他多数

ご観覧上の注意

- ビン、缶、ペットボトル類、お弁当等の食べ物類の持ち込みはご遠慮ください。
- 上演中、撮影等のフラッシュおよび、ビデオライトの使用はご遠慮ください。
- 客席内での携帯電話の使用はご遠慮ください。
- ドーム内は禁煙です。所定の喫煙所をご利用ください。
- 楽屋(出演者控え室)への立ち入りは、ご遠慮ください。
- 再入場はお断りしております。

日本のまつりに関するお問い合わせ先

札幌商工会議所 TEL.011-231-1314 <http://www.sapporo-cci.or.jp>
(財)地域伝統芸能活用センター TEL.03-5919-3665 <http://www.dentogeino.or.jp>

日本財団は、地域伝統芸能活用センターが行う
「地域伝統芸能の普及・発展のための事業」を
支援しています。

日本財団の事業

◆海や船に関する支援

日本が周囲を海に囲まれた海国であることを踏まえ、海洋船舶に関わる研究開発、航海安全のための国際協力、青少年への海事知識の普及活動などを展開しています。

◆文化、教育、社会福祉等に関する支援

障害者の自立支援、福祉車両の配備などの社会福祉事業、ホスピス・プログラム、子どもの健全育成、環境保護、災害援助、芸術文化・生涯スポーツの推進など、国内において、地域に密着した活動を支援しています。

◆海外の協力援助活動への支援

世界各国で人々が直面する貧困、飢餓、病気などの基本的諸問題の解決と、社会発展を担う人材育成のために、国際機関、各国政府、NGOなどと協力して支援活動を展開しています。

Webサイトで
24時間、情報を公開しています。

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

